



「善循環の輪質疑応答エッセンス集」 (広報担当 大山)

「善循環の輪 埼玉南部の集いin戸田」から ◎虫について

<質問要約>

地元の川に虫を再生したいのですが、どのようにしたらよいのでしょうか？

<比嘉教授からのコメント>

エサになるカワニナが育つ環境にすることが第一です。それには、川に農薬や合成洗剤が入らないようにしなければなりません。そして、EM 活性液を常時流し続け、川の石にヌメリが取れていれば EM が定着し、カワニナが育ち、それをエサとする虫が発生する環境に戻ったことになります。

福島県の農産物の生産から流通までをコーディネートすることで、長年生産者をサポートしてきたマクタアメリティ株式会社様が、栽培土壌と農産物の放射性セシウム濃度を測定したところ、良質の EM 発酵肥料を活用すると作物への移行が大幅に抑制されるという結果が得られましたので、紹介いたします。

	地域	品目	検査結果	検査方法 ^{A)}	土壌検査値 (Bq/kg)	検査機関
1	伊達市	小松菜	不検出	核種	2,781	同位体研究所 ^{B)}
2	伊達市	小松菜	不検出	核種	1,779	同位体研究所
3	伊達市	小松菜	不検出	核種	2,044	同位体研究所
4	伊達市	ほうれんそう	不検出	核種	2,418	同位体研究所
5	福島市	梨	不検出	核種	2,338	同位体研究所
6	本宮市	きゅうり	不検出	核種	2,659	日本大学
7	本宮市	なす	不検出	核種	4,984	日本大学
8	本宮市	きゅうり	不検出	核種	6,083	同位体研究所
9	本宮市	きゅうり	不検出	核種	3,271	同位体研究所
10	須賀川市	きゅうり	不検出	核種	2,476	同位体研究所

^{A)} 検査方法：厚生労働省「緊急時における食品の放射線測定マニュアル」に従い、ゲルマニウム半導体γ線スペクトロメトリーによる核種検査。検出限界は 1Bq/kg

^{B)} ゲルマニウム半導体検出器(CANBERRA 社製 GC2020)を使用

◇◇◇◇◇ お知らせ ◇◇◇◇◇

- 3月10日(土)、日本橋に出来た船着き場にて鮭の稚魚が放流されました。今回は千匹程度と数は少なかったのですが、3年後に戻ってきてくれることを願い、今後の浄化活動の励みにしたい所存です。
- EM活用交流会 in 牧之原(比嘉教授講演会)
3月24日(土)13時~16時半、総合健康福祉センター・さざんか(静岡県牧之原市)、入場無料。
お問い合わせはUネット事務局(03-5427-2348)まで。



- 善循環の輪 千葉県北部の集いin印西
3月25日(日)10時半~17時半、東京電機大学福田ホール、入場無料。主催：Uネット
- EM技術による究極の放射線対策~子ども達を守るために~
4月8日(日)14時~16時、せんだいメディアテーク1Fオープンスクエア、参加費500円、定員300名、詳細は主催団体の“おむすびの会”ブログ <http://tomianarita.jugem.jp/> をご覧ください。